

年度評価シート（令和6年度）

課名 産業政策課

施設の名称 静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター	指定管理者名 株式会社ピーエーシー
1 履行状況	
(1) 目標達成	
ア 利用満足度 目標値 90%以上 実績値 92.2% 達成率 102.4% (前年度 85.6%)	
イ 利用者数 目標値 40,000 人 実績値 47,702 人 達成率 119.2% (前年度 58,251 人)	
ウ クリエーターと企業のマッチング件数 目標値 6 件 実績値 20 件 達成率 333.3% (前年度 12 件)	
エ クリエーター集積 目標値 3 者 実績値 8 者 達成率 266.6% (前年度 3 者)	
(2) 施設利用状況	
諸室稼働率	
1F ギャラリー 利用率 92.8% (稼働率 92.8%、レンタル利用率 0%)	
2F ギャラリー 利用率 91.6% (稼働率 91.3%、レンタル利用率 0.3%)	
交流研修ルーム 利用率 47.0% (稼働率 45.3%、レンタル利用率 1.7%)	
多目的ルーム 利用率 46.1% (稼働率 44.6%、レンタル利用率 1.5%)	
利用率全体平均 69.3%	
(3) 人員配置状況	
契約社員 6 人	
(4) 業務実施状況	
静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター条例第 2 条に規定する各種事業について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。	
主な事業と参加者数は以下のとおり。	
ア クリエーター育成のための講座等の開催… 4 講座 参加人数 672 人 クリエイターのための相談会… 5 件	
イ 文化・クリエイティブ産業の振興に関する研修、講座及び講演会の開催 …14 講座 参加者人数 29,210 名	
ウ クリエーターの創造的な活動の発表…イベント数 3 回 参加者 13,124 名	
エ クリエーター相互及びクリエイターと他の事業者の交流 クリエイター交流会…HUB クリエーター 50 名 スタッフ 5 名 しずおかクリエイターズ HUB…新規登録者 45 名	

オ クリエーターの創造的な活動による新事業の創出及び既存産業の高度化の研究に対する支援

企業×クリエイター マッチングサポート…20 件

企業のためのクリエイティブデザイン相談…6 件

カ 文化・クリエイティブ産業に関する情報の収集及び提供

機関誌 CCC NEWS の発行…4 回

キ 文化・クリエイティブ産業を通じた地域文化の振興

クリエイター集積サポート…8 件

ク 海外等クリエイター活動事業への支援…公開制作1 件 36 回

【検証・分析等】

利用満足度に関して、目標値の 90%に届いていない項目もあるため、クリエイター向けのスキルアップと一般市民への啓蒙・啓発の双方を軸に事業展開をしていく必要がある。アンケート結果では、「創作やアートに興味を持った：96.23%」、「作品に刺激を受けた：92.87%」と、クリエイティブを身近に感じさせることができたため、今後さらに事業の質、内容を高めることで満足度の向上を期待する。

【確認結果】

○：協定書等の内容が適正に履行されている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

利用者からの意見・要望に対しては、適切な対応がとられている。また、メディアやチラシ等の媒体により市民に対して情報発信に努めている。

【検証・分析等】

イベントごとにアンケートを実施し、意見・要望を積極的に取り入れる体制も整っている。各事業のアンケートに関しても、圧倒的に褒めの言葉が多く、苦情・クレームはほぼない。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

当該施設では、イベントやセミナー等に参加した利用者を対象に、満足度の調査を行った。

アンケート回答者数 1,656 人 とともそう思う 60.57% そう思う 31.59%

【調査結果】

- ・ 展覧会 とともそう思うと回答 54.92% 思うと回答 36.62%
- ・ セミナー/WS とともそう思うと回答 68.52% 思うと回答 24.65%
- ・ イベント等 とともそう思うと回答 60.35% 思うと回答 31.65%

施設利用者に対して、アンケート形式による満足度調査を行った結果、全体では「とてもそう思う（とても良い）」「思う（良い）」の評価が、92.2%であった。事

業種別での満足度は、『セミナー／WS』が93.2%、『イベント等』が92.0%と、利用者参加形式の事業が好評を得ている。

【検証・分析等】

今後行ってほしい企画については、グラフィックデザイン9.6%、空間インテリアデザイン8.61%、家具・プロダクトデザイン9.1%が若干高めではあったが、突出した項目はなく、興味の対象が職種によって異なると類推される。

できるだけ幅広い分野での事業を企画するため、継続企画と新規企画で内容のバランスをとりながら事業を進めていく。

【確認結果】

(1) 利用者満足度

○：調査の結果が概ね良好である。

(2) 市民アンケート

【確認結果】

－：未実施

(3) その他の調査

【確認結果】

－：未実施

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況は、概ね予算どおりに執行されており、良好である。

【検証・分析等】

指定管理業務についての収支状況については、昨年と比較して大きな変化はないものの、設備・備品の関係で経年劣化しているものもあるため、今後支出が超過する恐れがある。そのため、指定管理者とよく協議して今後の修繕の計画を定めていきたい。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

指定管理業務全般について、業務仕様書や事業計画書に従い良好に実施されている。

事業全般については、ただ展示や講座を開催するのではなく、催しと合わせてワークショップ等を実施し、CCCでの経験がクリエイティブな活動に参加するきっかけと

なるような工夫がみられる。昨年度のアンケートで作家の話を聞きたいという意見があったため、作家によるトークショーも開催した。参加者との対話形式にすることで双方の距離が縮まり、参加者がアートを身近に感じることができる取り組みとなった。

具体的事業として、「静岡のスゴ技！工場のヒミツ展」では、10月に開催したオープンファクトリーイベントと連携し、インタビューパネル等で静岡市の産業を支える現場や職人について紹介を行った。出展者によるプレゼンテーション&交流会では働き盛りの40代の参加が26.3%とトップであり、名刺交換をするする姿などが見受けられた。

「CCC フロンティアフェスティバル」は2日間で約5,000名の来場があり、まちの賑わい創出に寄与した。事業の制作・演出・出展に関わったクリエイターおよび市民は100名、協力会場は30か所を超え、新たな価値創造につながるプログラムとなった。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。